

みどり

一般社団法人
群馬県造園建設業協会

〒379-2153
前橋市上大島町 25-5
TEL.027-290-2244
FAX.027-290-2245

2021.1.1 No.61

- 発行人／一般社団法人
群馬県造園建設業協会
- 事務局／〒379-2153
群馬県前橋市上大島町25-5
TEL.027-290-2244
FAX.027-290-2245
- 企画・編集／広報委員会
- 表紙写真／前橋公園 臨江閣日本庭園

主な内容

- | | |
|------------------------------------------|--------|
| 年頭ごあいさつ | p2~4 |
| 協会ニュース | p4~6 |
| 特集・新型コロナウイルスと新しい働き方 | p7 |
| 休憩室 | p8~9 |
| 町の庭師の手帳より／活躍する女性技術者たち
がんばれ後継者／表彰／編集後記 | |
| 役員・会員名簿 | p10~11 |
| 緑化技術シリーズ／協賛企業 | p12 |





謹賀新年



一般社団法人
群馬県造園建設業協会

会 長
川島 良則

新たな変化に対応する造園業に

新年あけましておめでとうございます。謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は年明け早々に中国の武漢で発生した、新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るい、今まで誰も経験した事がない世の中になってしまいました。日本に於いてもオリンピックの延期や緊急事態宣言の発令などで、人々の生活が一変する社会になりました。そのコロナ禍の中、新しいスタイルの仕事環境リモートワークなど会社に出勤しなくても在宅ワークが始まり、わが協会も今後Web会議の開催等出来る事から始めて行けたらと思っています。

さて群馬県では、一昨年の台風被害による復旧作業が迅速に進められていると聞いています。自然災害が甚大な被害をもたらす最近、我々造園業界も皆様の安全安心を確保する為、街路や公園に於いて危険木を調査し、快適な生活が送れるように努めて行きたいと思っています。また我々造園業としても人材の確保は急務の課題です。造園ならではの技術の伝承には数年の年月がかかる事から、若者に魅力と達成感を味わってもらえる様な努力を惜しまずしていく事が大事だと思っています。若い人に定着してもらえる様に企業としての働き方改革は早急に行っていく必要があると思っています。土曜日の休みを羨ましがっているのではなく、当たり前になる業界に、また、造園業界の賃金アップも今年の課題として取り組んで行きたいと思えます。最後に東毛地区から被害が広がりを見せているクビアカツヤカミキリムシについてですが、館林・太田は元より伊勢崎まで広がりを見せています。我々業界は『群馬からサクラを守ろう』を合言葉に、各市町村・県などと連携を取り、予防・早期発見・治療等など迅速な対応をとれるよう、業界一丸となって取り組んでいきます。

結びに今年中に新型コロナウイルスがある程度の鎮静化となり、会員企業の皆様にとって明るい希望に満ちた一年となりますように祈念して年明けの挨拶と致します。



群馬県知事

山本 一太

明けましておめでとうございます。

群馬県造園建設業協会の皆さまには、健やかな新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に加え、豚熱(CSF)の発生など、危機対応に多くの時間と資源を費やした一年でした。新型コロナウイルス感染症は秋口から新たな感染の波が全国を襲い、予断を許さない状況が続いています。また豚熱についても油断できない状況です。今後も自然災害を含め、気候変動によりさまざまな危機管理事案が常態化すると考えております。こうした事態にしっかり対応するため、さらなる備えを進めていきます。

特に、近年、頻発化・激甚化する気象災害の新たな脅威に対しては、ハードとソフトが一体となった防災・減災対策をこれまで以上に一層加速させることが必要と考え、「災害レジリエンスNo.1の実現」を最重点政策に位置づけた「ぐんま・県土整備プラン2020」を昨年12月に策定・公表しました。20年後の目指す将来像として「災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県」を掲げています。

ニューノーマルな社会において、本県はさらに輝けるポテンシャルを秘めています。今後も、新型コロナウイルス感染症や自然災害等から県民の命を守るために全力を尽くすと同時に、県民の皆さまがワクワクするような取り組みをさらに加速させていく考えです。

今年、「花と緑のぐんまづくり2021in桐生」が4月24日から5月23日まで、桐生市で開催されます。平成21年から毎年、県内各市町をリレーして取り組んできた“花とみどりあふれる県民参加の県土づくり”の集大成となるよう、「市制施行100周年、明日の緑をいまつくろう」を開催テーマに、皆様の御協力のもと、美しい花と緑で来場者をお迎えしたいと思います。

皆さまには、引き続き県政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が、皆さまにとって健康で幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



謹賀新年



群馬県議会議員

中沢 丈一

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症第2波対応準備のための9月補正予算が編成されました。検査・相談体制等の整備、医療提供体制の整備、福祉サービス提供体制の確保、産業の支援と生活不安への対応であり、制度融資枠も+1300億と拡大しました。

愛郷ぐんまプロジェクト「泊まって応援キャンペーン」を展開し、僅か元気も戻ってきましたが、11月下旬東京都では500名からの感染者が続き、コロナ感染警戒度は最高レベルに引き上げました。また、菅首相は「静かなマスク会食を」と呼びかけています。

今、まさに第3波であります。この1年振り返ると新型コロナ感染症対策に追われた1年でありました。殆どの行事やイベントが中止となり、「3密」を避けるため外出の自粛で、街の灯りが消えました。マスクやフェースシールドを装着し、手指消毒、検温を徹底し、リモート会議、オンラインでの仕事をしました。今までに経験した事のない生活様式となりました。

群馬県は2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」しました。

- 1、自然災害による死者「ゼロ」
- 2、温室効果排出量「ゼロ」
- 3、災害時の停電「ゼロ」
- 4、プラスチックごみ「ゼロ」
- 5、食品ロス「ゼロ」。

又、2040年に向かって、SDGsとSociety5.0を基軸に幸福度を上げるための新総合計画を策定中であります。

withコロナ、ニューノーマル（新常态）の時代、5G、AI、DX、を駆使して、ビックデータで「GAFA」や「BATH」に世界を席卷されない時代であって欲しいと願うものです。

群馬県造園建設業協会の益々のご発展と、皆様のご多幸をお祈り申し上げ新年の挨拶と致します。



群馬県議会議員

久保田 順一郎

新年明けましておめでとうございます。令和3年の新年を迎え、造園業界の皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えでしょうか。昨年は中国武漢で発生した新型コロナウイルスが大型客船ダイヤモンド・プリンセス号の集団感染とその後の流行がテドロスWHO会長のパンデミック発言と共に世界中に流布され、全世界がその対応に終始した年でありました。また、年明けの現在もまだ第3の流行の波の中にはいるのではないのでしょうか。これに伴うニューコロナ・アフターコロナの時代は、私たちの生活も「3密5小」対策を常に念頭に置いた生活行動を意識し、各業界も事業・社会活動が一変した対応を強いられることとなった一年間ではなかったでしょうか。その中でも科学技術の発展はG4関連機器の普及をもたらしとともに当時物珍しくもあったサテライトや遠隔通信のテレワーク業務などインドアの会社員から学校のリモート教育までへと広がりを見せ、今年国内でSociety5.0に向け高速G5通信の普及元年を迎える気配を見せています。さて、本年は流行病のワクチンも生産・接種配布が始まる事が予想されます。夏には日本の威信をかけた東京オリ・パラリンピックの開催を迎えます。また、昨年国連で合意発表されたSDGsの概念の普及の年ともなり、菅政権においてもパリの環境会議COP24の取り決めに向け「グリーン社会の実現」が表明されました。群馬県におきましては知事より「5つのゼロ」が掲げられ、その中でゴミエミッションゼロが宣言されています。その様な中で政府はデジタル社会の到来に備え本年9月にはデジタル庁発足を表明しました。これは旧来の日本国内制度に対する大きな挑戦であり、そのための準備が着々と進められております。携帯電話の通信料の引き下げ、印鑑の廃止施策、個人認証技術進歩に伴うマイナカードの用途拡張など行政システムの電子化はもとより教育のGIGAスクール推進など通信インフラの拡充を含め着々とその準備が進められております。時代の大きな変遷が私たちの目に見えてくる年になると思えます。街の生活環境からは徐々に緑が少なり、ともすると理詰めの都市型社会になろうとも庭にベランダに緑を置く気持ちを持ち続けたいものです。皆様にはくれぐれも流行病に負けることなく元気で健康な良いお年でありますことを衷心より祈念致します。

謹賀新年



群馬県議会議員

橋爪 洋介

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。とは言え殆どの皆様が例年とは異なったお正月気分ではないでしょうか。昨年は『コロナに始まりコロナに終わった一年』でありました。学校が休業になり、仕事もリモートワークが増えて、日常生活も社会経済活動も一変いたしました。未知の新型コロナウイルスに全世界が翻弄された一年でした。年末には「感染拡大第3波」が襲来し、医療体制が危機に直面いたしました。経済活動の目玉である「GO TOキャンペーン」を展開しながらの新型コロナ対策は賛否ありましたが、感染拡大の要因は同キャンペーンだけではなく、「全体的な緩み」であったのではないとも言われております。大きな政策決定や制度の中で、最終的には全ての行動において「勇気ある自己決定」が重要であると考えます。特効薬やワクチンが行き渡るまでの「我慢」はさぞかし大変かと思いますが、暫くの間、「新たな生活様式」の実践と「辛抱」です。共に頑張りましょう。

昨年の「年頭ご挨拶」では一昨年（令和元年）の12月時点で全国有効求人倍率は好調、群馬県はそれを遥かに上回り、特に高校生就職内定率は23年ぶりの高水準ということで好景気・労働力不足に言及させていただきました。転じて「コロナ禍」になり、雇用調整、景気先行き不透明、経費削減、国・地方の財源不足。頼りにしていた外国人労働者や技能実習生が入国出来ない現場の窮状（人手不足）。このような意味での「ニューノーマル」に一時的ではありますが合わせて仕事や人やお金も繋いで行かなければなりません。本来であれば、貴会の皆様とは新年会において親しくお話しをさせていただくところではありますが、時節柄、紙面にて失礼をさせていただきます。今年一年、貴会の更なる発展と会員皆様のご健康、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



花と緑のぐんまづくり 2020 in 藤岡

この事業は、平成20年に開催され、約500万人の方にご来場いただき大変御好評を得た、第25回「全国都市緑化ぐんまフェア」の理念を将来に引き継ぎ、県民の皆さまと力をあわせ、ふるさと「ぐんま」を花と緑あふれる、活力ある、美しい地域にするための事業です。

今回藤岡市が対象となり、群馬県藤岡土木事務所発注の工事として弊社が受注し、主に県道沿いに飾花・木製花壇等を設置し、その後の灌水、花がらつみ等を行いました。新型コロナ禍での作業となりましたが、マスク・アルコール消毒等で衛生に努め監督員と協議を重ね、円滑な工程管理を行い、自社所有の重機・車両をフル稼働させて施工しました。

また、関係機関と綿密な打ち合わせを行い、安全に作業を進めることができました。

今後は歴史ある桐生での事業になりますので更なる期待がもたれます。

（新田造園土木(株)・新田 貴大）



不当要求防止責任者講習会

不当要求防止責任者講習は、暴力団から各会社に不当な要求を受けたときの具体的要領をマ

スターする講習です。今回は協会が出前講習を開催しました。事例を挙げて詳細な内容を挙げていただきました。いつどこで自分たちの身に暴力団からの不当要求を起こされるかわかりません。その要求に対してしっかりと対応できるよう継続的にこのような講習会を開催し、マスターしていきたいと考えます。次は3年後に開催予定です。
(株)しみづ農園・清水 大助)



クビアカツヤカミキリ 防除作業

近年、クビアカツヤカミキリという特殊外来生物に大きな注目が向けられるようになった。群馬県では2015年7月に館林市において初めて確認されて以降、太田市は昨年度の3倍以上の被害が確認された。(朝日新聞, 2020, 11, 05)

「令和2年度群馬県クビアカツヤカミキリ予防対策事業」では、対象木5678本の施工実績と写真、作業に伴う資材調達など、全体の詳細内容を管理する役割を担った。2020年6月～9月末までという長期プロジェクトの任務を果たすことが出来たことは自身の成長に繋がったと思う。このプロジェクトを通して、外来生物問題を解決するためには、暮らしている場所の自然と向き合い、どのような方法でアプローチしていくのかを考え、継続していくことが大切だと思った。館林市では捕殺個体1匹につき50円か飲料水を贈る取り組みを考案したことにより、駆除に参加しようと思う年齢層の幅を広げ、尚且つ積極的に協力してくれる環境を整えている。

外来種は厄介者扱いされているが、その原因を作ったのは我々人間であることを忘れてはいけない。だからこそ、なぜ外来種を駆除するのか、その理由を明確にし、地域全体で協力し合い自然や環境を守ることが一番重要であると思った。



令和2年度 安全衛生大会

令和2年度造園建設業務安全衛生大会が9月25日(金)に開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、入館時には手指消毒と検温を実施し、室内では座席の間隔を保ち、換気も徹底して行い、例年ですと、2部制の2時間でしたが時間短縮の為、1部のみで行いました。

講師には、昨年度同様、労働安全コンサルタントの小淵不二夫先生にお越しいただき「建設業労働災害防止」について講和を頂きました。今回は重機災害について、より詳しく説明していただき「リスクアセスメント」の重要性を学ぶことができ、今後の作業においても実践しようと思います。

この安全衛生大会を受け、造園業界全体の安全意識を高め、建設災害ゼロに結び付けばと思います。
(昭和造園土木(株)・石橋 修一)

また、自分の住む地域を第一で考えられるようになること(地方主義)は、結果的に地域の活性化に繋がり、それが自然を守ることになるのではないかと思う。今後もこのプロジェクトが続く限り、私は協力し続けていきたい。

(株)共栄緑化・江谷 怜実)



第26回 緑の清掃活動

第26回緑の清掃活動を10月24日(土)に前橋市野中町の造園会館周囲にて行いました。今回は造園会館の大木(メタセコイヤ)の切り詰め作業も合同作業で中毛支部担当で行いました。当日は天候にも恵まれてボランティアに参加した皆さんは事故なく一生懸命に作業に取り組んで頂きました。剪定作業及び清掃作業に参加された皆様、ご協力ありがとうございました。本活動の1回目は赤城山にて自然保護活動の一環とし



て開催しました。その後、毎年場所を変えながら継続。環境美化の啓蒙活動も活動目的の一つとして掲げながら今日に至っております。我々協会員は環境を守ることを生業としている為、本活動は今後も継続して行っていきたいと考えております。引き続きご協力の程、宜しくお願いいたします。

(株)しみづ農園・清水 大助)



第27回 緑の清掃活動

第27回緑の清掃活動を11月7日(土)に「花と緑のぐんまづくり2021in桐生～ふるさとキラキラフェスティバル～」開催予定地の桐生市にて実施しました。

今回は桐生市の新川公園周辺～まちなかや駅前等の清掃活動を協会員やその家族総勢約50名が参加し行われました。

当日は天候にも恵まれボランティアに参加した皆さんは約1時間程度気持ちの良い汗をかきながら清掃作業ができました。参加された皆様ご協力ありがとうございました。

また当日の準備や手配を行っていただきました桐生市役所担当部署職員の方々大変ありがとうございました。

(萩原造園土木(株)・萩原 信弥)



新型コロナウイルス対策と新しい働き方

昨年より話題は新型コロナウイルス一色となっています。各団体、企業においても会員、社員の感染対策に頭を悩ませていることと思います。当協会では、群馬県からの依頼に基づき、「感染症対策ガイドライン」を作成し、県と覚書を締結しました。本ガイドラインに則り会員全員で感染防止に努めています。

協会での会議等の場合はマスク着用、検温、消毒を徹底し、3密を避けた形で行います。また定期的な換気を行います。不特定多数の出入りがある場所ですので、対策にはかなり気を付けています。

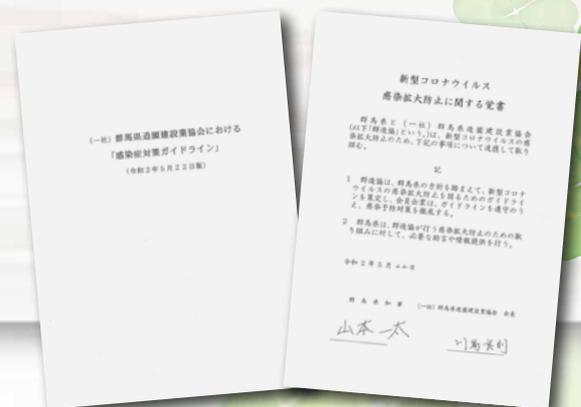
また、各社での取り組みも様々です。検温、消毒、行動履歴の把握等はもちろん、各現場での消毒液の配置や、簡易洗面所の設置、フェイスシールド付きヘルメットの導入など、工夫を凝らして感染症対策を行っています。我々は外で働く仕事ですので、ほかの業種よりも感染症対策が少なく済むかと言えば、そんなことはありません。夏の熱中症対策と感染症対策の両立という困難な課題があります。マスクを付けたまま作業をしていると30分も経たずにマスクは汗でビショビショになり、使い物にならなくなってしまいます。作業員同士の間隔をあけて、マスクをしなくても大丈夫なようにしたり、朝のミーティング時に普段より綿密に打ち合わせをし、作業中の会話を少なくする、休憩時は離れて休むなど、例年とは違う段取りが必要となります。しかし、道路や公園での作業においてはマスクをしていないと近隣の方から厳しい視線を向けられる事もあります。熱中症対策のため、検温、消毒を実施の上、間隔をあけて作業している旨の掲示を行ったりして、ご理解

解を頂きながら作業を行った会社も多いと思います。お客様への営業活動も今までとは違った形になってきている気がします。メールでのやり取りの増加、ビデオ会議の導入なども増えてきました。現場での打ち合わせが減った分、わかりやすい資料作成や細かいお見積りなどが求められたりしています。我々の業界にもニューノーマルという変化の波が訪れているのかもしれない。

しかし、新型コロナウイルス対策を行いながらの仕事も考え方を変えれば、一人一人の健康について考える良い機会となったとも言えるのではないのでしょうか。ある会社では、毎年体調不良で有給休暇を消化してしまう若手社員が今年は全然休まなくなっていて、計画的に有休を使えるようになったという話もあったようです。やはり、手洗い、うがい、消毒などを徹底すれば、新型コロナウイルスだけでなく、風邪などの体調不良を防ぐことも出来るのだと再認識させられました。

技術や伝統を重んじる我々の業界にも変化が訪れています。どんなに感染対策をしても感染するリスクはあります。しかし、感染しないよう精一杯の努力を行う事が我々協会員に課せられた責務だと思っています。

当協会も新たな生活様式に沿った取り組みを一致団結して徹底いたします。まずは協会員一人ひとりの行動一つ。他人事ではなく自分事として取り組みを行っていきたいと考えます。



Title

50歳から自衛官になりました

Memo

50歳を迎える年に庭師としてだけでなく、そろそろお国の為に働こうと思っていた頃に予備自衛官という制度を知り思い切って受験してみた。もう5年前になる。

筆記試験に小論文そして面接。こんな経験をしたのは何十年ぶりだったろうか。50歳にして面接で「あなたの長所は？短所は？」実に自分を見つめ直す良い機会になったのを思い出す。(笑) 受験者の約半分が不合格の中で無事に合格。そして合格後の次の試験は神奈川県にある武山駐屯地での教育隊による地獄の訓練が待ち構えていたのであります。(笑)

関東一円から武山駐屯地に集められた方々は職種も年齢も様々。50歳になっていた私は最長老。(笑) 一番若かった方は20歳の現役東大生。外科医、歯科医、看護師、国際線CA、通訳、建築

町の庭師の手帳より

士、自動車整備士、IT企業や大使館にお勤めの方など仕事も年齢も様々。

キツかった訓練で一緒に同じ釜のメシを食った仲間は5年経っても連絡を取り合い、最長老だった私にとっては若い仲間達が出来るきっかけになり、何とも有難いことである。

訓練中の僅かな自由時間には様々な業種の仲間から興味深い話を聞き、50歳のオジさんには体力的にはキツかったが有意義な訓練期間であった。

それぞれに自衛官への志望動機は様々であるが、東日本大震災の時に被災して自衛隊の方々にお世話になったので今度は私がお世話する側にと純粋な気持ちで予備自衛官になったという方も多く「若いのにすごいな」と感心したのを良く覚えている。

50歳の挑戦で、受験し行動することでこんな経験や出会いが出来たことに感謝感謝。予備自衛官定年まで頑張ろうと思います。

(横山田植物園・山田 進)

活躍する女性技術者たち



造園業に就職して

紅陵造園 株式会社

中林 蘭

私はもともと花と自然が大好きです。四季によって違う花の姿、種類、色や自然が与えてくれる景色やそれによって得られる癒しは誰もが無条件に与えられるプレゼントだと感じます。しかし世界を見たときに環境問題によって美しい地球が疲弊しているというニュースをよく目にします。未来の子供たちに美しい地球を残していくことが願われています。そういった思いの中で自然に携わる仕事に就きたいと感じ、紅陵造園株式会社に就職させていただきました。今は指示の内容をこなすのに正直精一杯です。まだまだ未熟ですが、真心込めて仕事に取り組みたいと感じています。花と自然の魅力や重要性を伝えていける人間になつていきたいと感じています。



活躍する女性技術者たち

株式会社 山梅

真貝 麻里子

この会社の広報・宣伝をやつてみたいです！そうやって今の会社に就職しました。造園の知識は何もありませんが好奇心旺盛な私はこの業界に飛び込みました。自然素材を活かしたモノづくりがもともと好きな私には、造園会社の至る所にある樹の枝やどんぐり、廃材の丸太等は宝の山でした。現在入社4年目、事務で現場部門をサポートし、マーケティング部で営業部門をサポートすることが私の仕事です。マーケティング部門では自社の素材を使用した営業アイテム作りや社内装飾で、社員やお客様を喜ばせることに力を入れています。まだ慣れていない若手社員でもそのアイテムを営業ツールとして使い、仕事をとってきてくれると私も「やった！うまく相手の心を掴むことができた！」と達成感も感じます。歴史ある造園技術にクリエイティブな発想を掛け合わせる影の技術者として、今後も多くの人を支えたいです。

女性が少ない業界ですが、活躍の場を無限に広げ、造園業界をさらに盛り上げたいと思います。また、昨年結婚したので今後家族が増えた時でも、私の仕事は事務所にいなくてもできる為、在宅ワーク等でもこの仕事に携わり続けたいです。





がんばれ後継者!!

(株)英造園 町田 伸行

私が家業の造園業を継ごうと志したのは中学3年生の時でした。後に私立東京農業大学造園学科を卒業し、学生専門のアパートに居座り、原付バイクで通勤可能な距離の世田谷区の造園会社に就職しました。平成3年です。会社の都合で、入社して2ヶ月目にゼネコン案件の担当になり、ポケベルとレンガの様な携帯電話を持たされひたすら働き続けました。某百貨店の担当も兼任していました。ライオン像の前で外渉担当者を車に乗せ一緒に営業に行きました。色んな方から贅を尽くした仕事を沢山させて頂きました。今となっては貴重な経験です。程よく勘違いした時に博多の造園会社に就職した弟と3年間の修行の後群馬に戻り現在に至っています。

昨年の11月に先代社長の逝去に伴い社長に就任いたしました。毎日を凌ぐのに精一杯で高尚な目標を設定する余裕がありません。3年間は大変だよと諸先輩にアドバイスを頂いていますので3年間凌ぐのが当面社長としての目標です。



(株)新栄造園 石川 吉治

父が経営する会社に入社後、25年が過ぎ、令和2年7月より代表取締役社長に就任しました。先ず、一年間は特に大きな変化なく、業務を行うと考えています。今まで先代がやってきたことを実行することが出来るか、確認したかったからです。勿論、私自身も理想的なイメージは有るし、私以上に周りは何かが変わること期待している雰囲気もありました。実際には至らないところばかりで、自分の足元を見つめ直す日々です。この様な現状ですが、社員とコミュニケーションをとり、今まで通りのサービスを提供することと社員満足度のプラスを代表としての役割として心掛けています。

新型コロナウイルスにより、新たな働き方・考え方が求められる中ですが、協会会員の皆様に指導頂いたことを教訓に、労働環境の整備に取り組み、今まで以上に社員が働き甲斐を持てるように努めると同時に業界・協会の更なる発展に尽力致しますので、宜しくお願いします。

表彰 おめでとうございます。

国土交通大臣
建設事業関係
功労表彰

(株)櫻造園

代表取締役 櫻井 幹男



優秀施工者
国土交通大臣顕彰

(株)力ネサ園

代表取締役 澤口 浩美



群馬県
優秀技能者表彰

(株)山梅

代表取締役 山田 通明



群馬県
優秀技能者表彰

紅陵造園(株)

代表取締役 山宮 衛



編集後記

現在、造園業界を取り巻く環境は劇的に変化している。少子高齢化から人口減少を背景に若い世代のライフスタイルも変化してきており、世間の「庭」に対する意識がかなり変わってきているように思える。この変革の時代を生き抜いていく為には、今までの当たり前な考え方・やり方を変えていかなくてはならないと考える。いかなる時代にも順応できる柔軟な思考から勇気と覚悟を持って能動的に行動を起こす事がこれからは必要ではないか。「温故知新」ならぬ「温故創新」を胸に留めて今後の造園業界の発展に微力ながら貢献していきたいと思う。

(株)しみづ農園・清水 大助

■ (一社) 群馬県造園建設業協会 役員名簿

	氏名	社名	住所	電話番号	
相談役	清水 一也	(株)しみづ農園代表取締役会長	高崎市柴崎町1563	027-352-2244	
会長	川島 良則	(有)川島植物園代表取締役	館林市岡野町231	0276-72-1940	
副会長	木暮 一広	(株)群馬清風園代表取締役	前橋市関根町1-7-14	027-231-3863	
	大山 安	中央群馬工業(株)代表取締役	高崎市引間町42-2	027-373-1252	
	山田 進	(株)山田植物園代表取締役	太田市安良岡町395-1	0276-22-6007	
専務理事	北爪 満	(有)富士造園代表取締役	前橋市富士見町時沢3135	027-288-4027	
理事	澤口 浩美	(株)カネサ園代表取締役	太田市熊野町19-1	0276-22-3575	
	荻原 健	赤城グリーン(株)代表取締役	前橋市小神明町459	027-231-0857	
	櫻井 幹男	櫻造園(株)代表取締役	安中市安中1819	027-381-0144	
	君島 静夫	(有)君島造園	邑楽郡千代田町新福寺455-1	0276-86-2852	
	熊倉 幹夫	熊倉造園土木(株)代表取締役	館林市近藤町2899-14	0276-75-1188	
	増尾 雅樹	増尾造園土木(株)代表取締役	邑楽郡邑楽町大字篠塚2939	0276-88-3237	
	山田 通明	(株)山梅代表取締役	太田市上小林町226	0276-22-8551	
	高橋 光弘	(株)森緑造園土木代表取締役	邑楽郡千代田町福島642-45	0276-86-2170	
	石橋 修一	昭和造園土木(株)代表取締役	前橋市苗ヶ島町858	027-283-2363	
	中村 一博	(株)中村造園取締役	前橋市富士見町小暮2617-2	027-288-2086	
	萩原 信弥	萩原造園土木(株)代表取締役	佐波郡玉村町樋越460-2	0270-65-2757	
	菊地 章博	(株)菊地造園土木代表取締役	伊勢崎市田中島町1421-5	0270-23-7482	
	小泉 雄作	(株)小泉農園代表取締役	前橋市亀里町147-1	027-265-0594	
	清水 大助	(株)しみづ農園専務取締役	高崎市柴崎町1563	027-352-2244	
	新田 貴大	新田造園土木(株)常務取締役	藤岡市譲原1383-1	0274-52-2198	
	監事	山田 篤志	(株)山晃代表取締役	太田市龍舞町4685-3	0276-46-2762
		栗原 良治	山紅緑地(株)代表取締役	前橋市金丸町232	027-269-0250
川原田 和広		(有)安中造園代表取締役	安中市中秋岡1528-1	027-382-1610	
齋藤 仁志		(有)中田計理事務所代表取締役	前橋市西片貝町5丁目18-14	027-243-5757	
事務局員	樋口則文子		前橋市上大島町25-5	027-290-2244	
	石崎久美子				

■ (一社) 群馬県造園建設業協会 会員名簿 (支部別)

支部	社名	代表者名	住所	〒	電話番号	FAX
東毛支部	(株)金山園	塚本 将成	太田市細谷町124-2	373-0842	0276-32-3715	32-3605
	(有)川島植物園	川島 良則	館林市岡野町231	374-0067	0276-72-1940	73-8319
	(株)共栄緑化	須永 敏明	太田市浜町73-12	373-0853	0276-46-3255	46-3242
	熊倉造園土木(株)	熊倉 幹夫	館林市近藤町2899-14	374-0042	0276-75-1188	75-1191
	(株)新栄造園	石川 吉治	館林市上三林町1592-1	374-0046	0276-73-4197	72-6840
	増尾造園土木(株)	増尾 雅樹	邑楽郡邑楽町大字篠塚2939	370-0615	0276-88-3237	89-0752
	(株)松島造園土木	松島 和正	太田市宝町871	373-0042	0276-31-6390	31-4803
	丸桑造園(株)	大澤 善昭	邑楽郡千代田町赤岩2561	370-0503	0276-86-3251	86-3438
	(株)山梅	山田 通明	太田市上小林町226	373-0024	0276-22-8551	25-6372
	(株)山田植物園	山田 進	太田市安良岡町395-1	373-0811	0276-22-6007	22-6702
	(株)東毛造園土木	高橋 俊之	邑楽郡千代田町福島642	370-0501	0276-86-2423	86-5188
	(株)野村造園土木	野村 宣栄	邑楽郡千代田町舞木165-1	370-0504	0276-86-3641	86-5921
	(株)クツカク	野口 一雄	太田市大原町2237-15	379-2304	0277-78-2050	78-2004
	(株)群馬緑営	大澤美枝子	邑楽郡千代田町福島442-1	370-0501	0276-86-2428	86-4888
	(株)山晃	山田 篤志	太田市龍舞町4685-3	373-0806	0276-46-2762	49-0150
	(株)丸善造園土木	小沢 正佳	太田市東金井町1880	373-0022	0276-22-1801	26-0217
	(株)森緑造園土木	高橋 光弘	邑楽郡千代田町福島642-45	370-0501	0276-86-2170	86-6285
	(株)カネサ園	澤口 浩美	太田市熊野町19-1	373-0025	0276-22-3575	25-2028
	(有)君島造園	君島 静次	邑楽郡千代田町新福寺455-1	370-0505	0276-86-2852	86-2630



なごみ やすらぎ 潤い
 …快適な緑の空間を
 演出します。

支部	社名	代表者名	住所	〒	電話番号	FAX
中毛支部	赤城グリーン(株)	荻原 健	前橋市小神明町459	371-0134	027-231-0857	231-0866
	(株)群馬清風園	木暮 一広	前橋市関根町1-7-14	371-0047	027-231-3863	233-3953
	群馬緑化(株)	岡田 友子	前橋市敷島町248-13	371-0036	027-219-4193	219-4194
	群馬建苗(株)	今井 秀人	前橋市荻窪町426-3	371-0001	027-269-0421	269-0416
	昭和造園土木(株)	石橋 修一	前橋市苗ヶ島町858	371-0241	027-283-2363	283-2399
	(株)中村造園	中村日出男	前橋市富士見町小暮2617-2	371-0103	027-288-2086	288-6306
	萩原造園土木(株)	萩原 信弥	佐波郡玉村町樋越460-2	370-1103	0270-65-2757	65-3781
	(有)双葉造園	茂木 一彦	前橋市大友町3-14-9	371-0847	027-252-4128	253-3513
	前橋園芸(株)	中村敬太郎	前橋市亀里町201-1	379-2147	027-265-3131	265-3132
	(有)青木造園	青木 慎二	前橋市今井町687	379-2116	027-268-3973	268-3974
	(株)高橋造園土木	高橋 副二	前橋市金丸町38	371-0121	027-269-3510	269-2132
	(有)富士造園	北爪 満	前橋市富士見町時沢3135	371-0104	027-288-4027	288-6490
	(株)治田造園土木	治田 貴典	利根郡昭和村大字糸井7612-1	379-1203	0278-24-7356	24-7978
	(株)菊地造園土木	菊地 章博	伊勢崎市田中島町1421-5	372-0802	0270-23-7482	23-5652
	(株)小泉農園	小泉 雄作	前橋市亀里町147-1	379-2147	027-265-0594	265-4482
	(有)藤井造園	藤井 明人	前橋市田口町567-1	371-0048	027-232-8856	232-2644
	(株)英 造園	町田 伸行	前橋市山王町1-38-5	379-2123	027-266-8723	267-0120
	(有)富田造園土木	富田 恭躬	前橋市二之宮町1068	379-2117	027-268-0782	268-5244
山紅緑地(株)	栗原 良治	前橋市金丸町232	371-0121	027-269-0250	269-0098	
紅陵造園(株)	山宮 衛	前橋市青梨子町1617-1	370-3573	027-251-9917	251-9993	

西毛支部	(有)安中造園	川原田和広	安中市中秋間1528-1	379-0103	027-382-1610	382-5397
	群馬庚申園(株)	山口 雄資	藤岡市本郷820-9	375-0023	0274-23-2826	23-2967
	櫻 造園(株)	櫻井 幹男	安中市安中1819	379-0116	027-381-0144	382-5210
	(株)しみづ農園	清水 一秋	高崎市柴崎町1563	370-0035	027-352-2244	352-2236
	多野造園土木(株)	田中 広幸	高崎市吉井町塩川13	370-2134	027-387-5955	387-6818
	中央群馬工業(株)	大山 安	高崎市引間町42-2	370-3517	027-373-1252	372-1977
	新田造園土木(株)	新田 元大	藤岡市譲原1383-1	370-1402	0274-52-2198	52-2155
	飯塚緑地(株)	飯塚 勝	渋川市横堀775番地	377-0206	0279-53-3648	53-3694
	(株)藤松陸	茂木 桂子	多野郡神流町大字万場56-1	370-1504	0274-57-2324	57-2277
	(株)白石植物園	白石 修	富岡市藤木232	370-2307	0274-62-3091	62-3089
	(株)八木造園	岩崎 重雄	高崎市京目町1197	370-0011	027-352-8482	353-1558
	(有)神戸造園	神戸 和徳	甘楽郡下仁田町大字馬山4141-34	370-2603	0274-82-5760	82-5011

令和2年12月1日現在

緑化技術シリーズ

潜む倒木の危険



外観上、何の変化もない大木が突然倒れることがある。主な原因は、『巻き根』による幹の絞め殺し。平成30年9月4日夜7時頃、伊勢崎市の北部環状線でのこと、当日は台風により風速10m弱の南風で、樹高9m目通り133cmのケヤキが歩道側に倒れた。幸い車道側でなかったため物損事故は免れ、歩行者もおらず人身事故もなく済んだ。

巻き根は人工的に植栽された樹木に多く見られ、特に深植えや盛土により発生することが判っている。広葉樹は根元の根張りが発達して樹体を支えているが、深植えをすると根元の発達が阻害され幹に絡みつような根が発生し、それが生長するにつれて幹を締め付けるようになってやがて根元が変形する。

同様の倒木例が県内でも数例あり、ぐんまフ

ラワーパーク駐車場のケヤキも同じ原因で風もない雨の夜に突然倒れている。

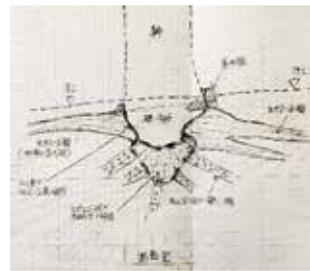
注意深く観察すると、根元の根張りが全く発達せずに幹が土中に突き刺さっているような状態で生長し、根元と目通りの太さが僅かの差で生長する。例えば電柱のような幹をしているのである。

このような生長の仕方の広葉樹は要注意である。他にもオオミコブタケというキノコが発生している例もあるが、因果関係は特定されていない。

全国的には移植時の根巻きにビニール紐を使用し、それが腐らずに幹を絞め殺している例や、接木時のテープが食い込んで幹折れした例もある。

公共の場は不特定多数の人々が行き交う場所であり、植栽時は細心の注意が要る。また、樹木の危険診断も欠くことはできない。快適な空間は、安心・安全な場所でなくてはならない。

樹木医 石橋 照夫



協賛企業



株式会社 ニッパンレンタカー

■前橋営業所 前橋市西片貝町4-5-19
TEL.027-221-3151 FAX.027-243-5507

■高崎営業所 高崎市下小堀町1472-3
TEL.027-343-8808 FAX.027-343-8309

■高崎東・藤岡営業所 藤岡市中大塚208-1
TEL.0274-20-1711 FAX.0274-20-1713

■伊勢崎営業所 伊勢崎市三室町5916
TEL.0270-20-2250 FAX.0270-20-2252

■渋川営業所 渋川市半田3037-1
TEL.0279-60-5088 FAX.0270-60-5089

■吾妻出張所 吾妻郡中之条町伊勢町17-3
TEL.027-221-3151 FAX.027-243-5507

■太田営業所 邑楽郡邑楽町篠塚3473-1
TEL.0276-88-8411 FAX.0276-88-8412

■足利営業所 栃木県足利市小俣町358-3
TEL.0284-62-5076 FAX.0284-62-5175



NISHIO

西尾レントオール株式会社

■高崎営業所 〒370-1135

群馬県佐波郡玉村町大字板井744-1

電話 0270-65-0391 FAX 0270-65-9206

■太田営業所 〒370-0314

群馬県太田市新田市野井町999-1

電話 0276-57-4240 FAX 0276-57-4509



株式会社 アクティオ

■富岡営業所 富岡市黒川645-1
TEL.0274-64-4053 FAX.0274-64-4056

■高崎営業所 高崎市宮原町10-3
TEL.027-330-3411 FAX.027-330-3401

■太田営業所 太田市下浜田町369-32
TEL.0276-47-1410 FAX.0276-47-1413

■前橋営業所 前橋市六供町1391-1
TEL.027-243-9141 FAX.027-243-9144

■渋川営業所 渋川市白井2340
TEL.0279-60-5522 FAX.0279-60-5523

■吾妻営業所 吾妻郡東吾妻町松谷129
TEL.0279-67-2291 FAX.0279-67-2293

■伊勢崎営業所 伊勢崎市粕川町1806
TEL.0270-26-4145 FAX.0270-26-4146

建機レンタル・環境機器・イベントプロデュース

KOEI コーエー株式会社

■前橋センター/前橋市富士見町時沢106
TEL 027-288-2333 FAX 027-288-7101

■高崎/高崎市八幡原町208
TEL 027-347-0309 FAX 027-347-4522

■太田/太田市藤阿久町914-7
TEL 0276-31-1823 FAX 0276-31-5026

■桐生/桐生市新里町新川753-1
TEL 0277-32-5572 FAX 0277-32-5573

■沼田/沼田市栄町506-1
TEL 0278-24-5118 FAX 0278-22-5118

■吾妻/吾妻郡東吾妻町原町203-1
TEL 0279-68-4132 FAX 0279-68-5128

■長野原/吾妻郡長野原町大字羽根尾546-5
TEL 0279-82-2525 FAX 0279-82-3771

■富岡/富岡市神農原723-1
TEL 0274-63-5124 FAX 0274-63-7232

■藤岡/藤岡市大字藤岡2154-1
TEL 0274-24-6034 FAX 0274-24-6035

■神流町/多野郡神流町大字青梨873-1
TEL 0274-57-2316 FAX 0274-57-3376